



2023年7月13日  
西日本旅客鉄道株式会社  
JR西日本不動産開発株式会社  
入川スタイル&ホールディングス株式会社

## モトコー再整備 一部既存施設物の活用について ～9月7日から元町～神戸高架下（モトコー6番街）にて モトコーミュージアムを暫定的に開業します～

元町高架通商店街（以下「モトコー」）においては、元町高架通商店街振興組合をはじめご契約者様へ高架下返還のご相談をさせていただき、多くのご契約者様及び商店街の皆様にご理解を賜ると共に、耐震補強工事等、鉄道の更なる安全性向上に必要な工事を進めてまいりました。また、工事完了後、一部の区画においては、既にJR西日本不動産開発株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：藤原嘉人）による再整備建物が営業を開始しております。

この度、弊社が2023年4月に定めました「JR西日本グループ長期ビジョン2032」における4つのビジョンの1つである「人々が行きかう、いきいきとしたまち」の実現に向けた取り組みの一環として、既存の再整備建物に加え、これまで多種多様な価値を生み出してきたモトコーへの想いを込め、返還いただいた高架下にある物などをオマージュし、アート化すると共に、それらを立体的に展示した「モトコーミュージアム」を暫定的に開業する運びとなりましたので、お知らせいたします。

### <実施概要>

実施区画	6街区（一部）
所在地（住居表示）	神戸市中央区元町高架通3番259号 （山側259～264号、浜側257～268号）
敷地面積	677.20㎡
延床面積	444.74㎡
開業予定期間	2023年9月7日～12月末（不定期開催）
プロデューサー	入川ひとと（入川スタイル&ホールディングス株式会社）



## ■モトコーミュージアムについて

コンセプト | モトコーローカリズム



**モトコーローカリズム**とは、アフターコロナを見据えグローバル化することが不可能になりつつある市場経済には振り回されない、個性豊かな世界観を持つモトコー商店街の復活のシナリオである。

## 総合プロデューサー | 入川ひでと



### 入川 秀人

入川スタイル&ホールディングス  
代表取締役社長兼CEO

東急沿線成長戦略、京王電鉄多摩センターエリアブランディング、UNIQLO原宿UT店舗プロデュース、六本木ヒルズTSUTAYA TOKYO ROPPONGI店舗プロデュース。事業創造においては、(株)カフェカンパニー、(株)ダブリュースカンパニーなど「カフェが街をつくる」をコンセプトに日本全国の地域コミュニティを再生する事業を展開。神奈川県/大磯町、奈良県/東吉野、島根県/浜田市、兵庫県/神戸市、などでのコミュニティ再生をカフェなどの開発を通して実践している。青山学院大学、東京経済大学、東京首都大学、などで長期講座を持つ。テーマは「カフェを通じた地域コミュニティの再生」。ソーシャルワークとして「東北震災復興リーダー支援プロジェクト」、「東北起業家育成・事業構想支援プログラム」、などのメンターを長期に渡り実装。著作に「カフェが街をつくる」クロスメディアパブリシティング出版。



# 高架下 MUSEUM

神戸は、明治・大正・昭和という時代の中で開港、国際貿易都市、高度成長、震災、バブル、バブル崩壊などの環境変化に寄り添って、カラフルに出来上がってきた街。現在もその側面を残しつつ、非常に多種多様な価値観を生んできた。

土地の歴史、記憶、経験から街を捉える

高架下 MUSEUM

それを支える環境や場のあり方を考える

その地域の人々の気持ちや経験を考える

## ミュージアムディレクター | 岡本亮



### 岡本亮

株式会社ムサシ CDO  
現代美術家 CALMA

1996年ロンドン、カンバウェル・アートスクール、1997年セントラル・セントマーティンス・アート&デザインで芸術を学ぶ。1999年IDEE SHOP pacific TOKYO 企画個人展「moon light tent」、翌年「オオカミにならない犬」を経て英国より帰国。輸入雑貨、オリジナル製品ブランド「EINSHOP (アインショップ)」を創設、総合プロデュースをしながらアーティストとして国内外で数々の作品やイベントを発表。

2019年現代美術ブランド「CALMA by Ryo Okamoto」設立。全国の芸術祭、デザインフェアにて活動。

2022年兵庫県に老朽施設を独自で開拓し、「都会と自然」を体感できる場、人を育てる拠点「ON THE HILL」を創り出す。

## 多彩なクリエイター・プロデューサーが参画



**齋藤 精一**  
パノマティクス 主宰

1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAD)で学び、2000年からNYで活動を開始。その後ArnellGroupにてクリエイティブとして活動し、2003年の越後妻有トリエンナーレでアーティストに選出されたのをきっかけに帰国。その後フリーランスのクリエイティブとして活躍後、2006年にライゾマティクスを設立。現在、株式会社ライゾマティクス代表取締役、京都精華大学デザイン学科非常勤講師。2013年D&AD Digital Design部門審査員、2014年カンヌ国際広告賞Branded Content and Entertainment部門審査員。2015年ミラノエキスポ日本館シアターコンテンツディレクター、六本木アートナイト2015にてメディアアートディレクター。グッドデザイン賞2015-2017審査員。2018年グッドデザイン賞審査委員副委員長。2020年ドバイ万博日本館クリエイティブアドバイザー。



**中川 政七**  
株式会社中川政七商店  
代表取締役会長

京都大学法学部卒業後、2000年富士通株式会社入社。2002年に株式会社中川政七商店に入社し、2008年に十三代社長に就任。2018年より会長を務める。業界初の工芸をベースにしたSPA業態を確立し、「日本の工芸を元気にする!」というビジョンのもと、業界特化型の経営コンサルティング事業を開始。初クライアントである長崎県佐佐見焼の陶磁器メーカー、有限会社マルヒロでは新ブランド「HASAMI」を立ち上げ空前の大ヒットとなる。現在は奈良の地に数多くのスモールビジネスを生み出し、街を元気にするプロジェクト「N.PARK PROJECT」を提唱。産業観光によるビジョンの実現を目指している。



**指出一正**  
「ノコト」編集長

島根県「しまコアカデミー」メイン講師、山形県小国町「白い森サステナブルデザインスクール」メイン講師、高知県高知市「エディットKAGAMIGAWA」「高知・鏡川 RYOMA流域学校」メイン講師、奥大和地域誘客促進事業実行委員会、奈良県、吉野町、天川村、曾爾村「MIND TRAIL 奥大和心のなかの美術館」エリア横断キュレーター、群馬県庁31階「ソーシャルマルシェ&キッチン『GINGHAM (ギンガム)』」プロデューサーをはじめ、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房、総務省、国土交通省、農林水産省、環境省などの国の委員も務める。経済産業省「2025年大阪・関西万博日本館」クリエイター。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』（ポプラ新書）。



**田中元子**  
グランドレール代表

2004年より建築関係のメディアづくりに従事。2010年よりワークショップ「けんちく体操」に参加。2016年「1階づくりはまちづくり」をモットーに、株式会社グランドレールを設立。さまざまな施設や空間、まちづくりのコンサルティングやプロデュースを手がける。2018年「喫茶ランドリー」開業。2019年「JAPAN/TOKYO BENCH PROJECT」始動。主な受賞に「2018年度グッドデザイン特別賞 グッドフォーカス[地域社会デザイン]賞」、「2013年日本建築学会教育賞(教育貢献)」ほか。



**小泉 寛明**  
Lusie Inc. 代表取締役  
神戸R不動産運営メンバー

関西学院大学経済学部卒。カリフォルニア大学アーバイン校ソーシャルエコロジー学部都市計画修士号。1999年森ビル株式会社に入社、六本木ヒルズの立ち上げ業務に従事。2002年よりアメリカ・ロサンゼルスにてフリーランスコンサルタントとして活動。2006年株式会社Dressの代表取締役に就任し、静岡県伊豆市のオーベルジュ「アルカナイズ」の開発と運営を中心としたホテル会社を経営。2006年株式会社アイディーユープラスの取締役に就任し、不動産開発・飲食店にかかわる各種事業を指揮。2010年神戸にてLusie Inc.の代表取締役に就任。建築・不動産・店舗の開発/再生にかかわるプランニング・コンサルティングを行う。



**岡本 篤**  
株式会社ムサシ 代表取締役

園芸製品やセンサーライトのトップメーカー株式会社ムサシ代表取締役。経営者をつとめながら、2017年から地元の加古川市で「ムサシオープンデパート朝市」を毎週開催。累計250回以上となり、いまや街の顔のひとつに育てた。高頻度の開催とボランティアや出店者と一体となったの運営を特徴としている。発端のひとつが、東日本大震災や熊本地震、西日本大水害の復旧活動の立ち上げリーダーとしての活動である。朝市の運営には、震災直後の被災地で着想をえたコミュニティ・ビルディング手法を多数導入している。大阪外国語大学スペイン語専攻卒。元冒険家志望で、南米バンタナールの単独カヤックソロツーリングは日本人初。



**坂本 大祐**  
合同会社オフィスキャンプ代表

奈良県東吉野村に2006年移住。2015年 国、県、村との事業、シェアとワーキングの施設「オフィスキャンプ東吉野」を企画・デザインを行い、運営も受託。開業後、同施設で出会った仲間と山村のデザインファーム「合同会社オフィスキャンプ」を設立。2018年、ローカルエリアのワーキング運営者と共に「一般社団法人ローカルワークアソシエーション」を設立、全国のワーキング施設の開業をサポートしている。著書に、新山直広との共著「おもしろい地域には、おもしろいデザイナーがいる」(学芸出版)がある。奈良県生駒市で手がけた「まほうの다가しやチロル堂」がグッドデザイン賞2022の大賞を受賞。2023 4/30 デザインと地域のこれからを学ぶ場「LIVE DESIGN School」を仲間たちと開校。